

港区ひきこもり当事者の居場所づくり支援等の業務委託事業者候補者募集要項に対する質問及び回答

質問番号	資料名	質問該当ページ	質問該当行	質問事項	質問内容	回答
1	-	-	-	本事業の対象者となる方々の抱える課題について	貴自治体における特徴等があればご教示ください。	令和5年7月から8月にかけて実態調査(調査名称:社会参加に関する調査)を実施し、結果を区ホームページで公表していますので、ご参照ください。 https://www.city.minato.tokyo.jp/jiritsusien/hikikomori/jittachosa/jittachosa.html
2	-	-	-	貴区の成果と課題について	貴区のひきこもり施策について、達成事項および課題と捉えていることをご教示ください。	実態調査結果を踏まえた施策の実施1年目であること、また長期的支援が必要なひきこもり施策のため、達成事項はありません。 課題は、実態調査の結果をご参照ください。
3	-	-	-	定員および参加目標人数について	「メタバス空間を利用した居場所」「ひきこもり本人向けの対面の居場所」「家族教室」それぞれの、定員および1回あたりの参加目標人数をご教示ください。	全て定員は20名程度を想定しています。 参加目標人数は特に設定していませんが、参加人数が多いことが望ましいです。
4	仕様書	1ページ	13行目	履行場所の確認について	「ひきこもり本人向けの対面の居場所」「家族教室」で使用する部屋の収容人数と使用できる部屋数をそれぞれご教示ください。	「ひきこもり本人向けの対面の居場所」及び「家族教室」で使用する部屋数は1部屋、収容人数は、約20名程度を予定していますが、状況に応じて部屋の追加や、20名以上収容できる部屋の手配をする予定です。
5	仕様書	2ページ	14行目	メタバス空間内における人員配置について	相談員とファシリテーターの兼任は可能でしょうか。また、『交流室に可能な限りひきこもり経験者を配置する』とのことですが、ひきこもり経験者はファシリテーターとの兼任は可能でしょうか。	相談員とファシリテーターの兼任は可能ですが、ひきこもり経験者とファシリテーターの兼任は不可です。
6	仕様書	2ページ	29行目	開催の周知について	開催の周知は「ホームページで行うこと」とありますが、このホームページとは受託者が作成する想定でしょうか。それとも貴区ホームページでの掲載を依頼するのでしょうか。	受託者が作成するホームページで周知を実施してください。 なお、区ホームページ上の周知は、区が行います。
7	仕様書	4ページ	29行目	家族教室における人員配置について	相談員とファシリテーターの兼任は可能でしょうか。	相談員とファシリテーターの兼任は可能です。
8	仕様書	2ページ	26行目	メタバス空間を使ったひきこもり支援内容に関する、実施時間(3時間)の使い方について	6(1)②ウ参加者の状況に応じて、3時間通しで行わず2部制に分ける等、臨機応変にプログラムの構成を検討・改良するイメージでおります。こちらの解釈でよろしいでしょうか?	臨機応変に対応していただくことは問題ありません。
9	仕様書	2ページ	31行目	HPの仕様について	(1)4月の始動から、HP作成に充てる時間を考え、先行公開する部分と追って公開する部分など、公開時期を二度に分けてもよろしいでしょうか? (2)メタバス空間を利用した居場所支援の申し込みについて、個人情報を取り扱うことになりませんが、セキュリティ上のリスクを鑑み、申し込み情報の収集にご指定はありますでしょうか?また、区内でフォーム情報の収集ができるシステムがある場合、そちらを利用させていただくことは可能でしょうか? (3)HPのサイトマップの構成案はありますか? (4)サーバーに対するご提案の詳細(スペックなど)があれば教えてください。 (5)CMSのご利用についてご指定はありますか? (6)ドメインは新規で取得する必要がありますでしょうか? (7)Webアクセシビリティの対応は必要でしょうか?必要の場合、等級などご指示いただきたいです。	(1)問題ありません。 (2)申込方法及び申込時に収集する情報は、仕様書6(1)④をご参照ください。 なお、申込情報を含めた傾向分析をしていただくことを想定しているため、フォーム情報の収集は事業者様で手配をお願いします。 (3)サイトマップ構成の指定はありませんのでわかりやすい構成としてください。 (4)パソコン・スマートフォン・フューチャーフォン・タブレット端末等、幅広い情報機器からアクセスが出来ること、また短時間でホームページの読み込みが出来る容量を備えてください。 (5)特段の指定はありません (6)区ホームページとは別の専用ページとなるため、新規ドメインの取得が必須です。 (7)区ホームページ上に、区ホームページのWebアクセシビリティ方針を掲載していますので、同様の対応をしてください。 https://www.city.minato.tokyo.jp/portal/houshin.html
10	仕様書	3ページ	7行目	アンケートを通した傾向分析について	メタバス空間を利用したひきこもり支援、ひきこもり本人向けの対面の居場所支援(6(3)⑧)、家族教室(6(4)⑩)について、アンケート結果を踏まえた傾向分析を作成することあります。こちらの内容についてはどのようなものを想定していますでしょうか?	支援対象者の特性・今後の支援方針等を想定していますが、指定はありません。
11	仕様書	9ページ	4行目	個人情報の保護について	「セキュリティ確認用チェックシート」について、事前にいただくことは可能でしょうか? 例えば、HPにて個人情報を取り扱う際の基準がある場合、必要事項を現時点で確認できた方がよりイメージを共有できるため、可能な範囲で開示いただけたら幸いです。	「セキュリティ確認用チェックシート」の内容は、主に仕様書別紙の「個人情報等取扱いに関する特記事項」や「港区情報安全対策指針」の内容になります。なお「港区情報安全対策指針」は、区ホームページで公開していますので、ご参照ください。 https://www.city.minato.tokyo.jp/jouhokanri/kuse/johosessaku/shishin.html
12	港区メタバス空間における居場所づくり仕様及び機能	2ページ	4行目	メタバス空間の仕様について	チャットデータの出力について、出力が必要な範囲を教えてください。	チャットデータの出力は、要望に応じて区が対応するため、本事業の委託事業者へ出力を求めたものではありません。
13	港区メタバス空間における居場所づくり仕様及び機能	2ページ	7行目	メタバス空間の仕様について	相談室の入室制限、入室できない設定、管理者がいる条件の入室について、メタバス画面から行える仕様か、CMSから行える仕様か、どちらをイメージされているか確認したいです。	メタバス画面から行える仕様を検討しています。
14	港区メタバス空間における居場所づくり仕様及び機能	2ページ	9行目	メタバス空間の仕様について	「管理者のみが入室出来ない設定が可能。また入室出来ない設定後であっても管理者のみ入室及び相談内容の確認が可能。」 こちらについて、以下2点を認識しました。①入室制限の設定は管理者のみ可能、②利用者が入室できない設定時でも管理者は空間内に入り、ログの確認等が行える。 こちらの解釈でよろしいでしょうか?	①については、お見込のとおりです。 ②について、ログの確認は管理者では確認できません。ログの確認が必要な場合は、区への連絡が必要になります。
15	港区メタバス空間における居場所づくり仕様及び機能	2ページ	13行目	メタバス空間の仕様について	(1)「参加者同士が音声や文章によるチャットで交流ができる機能。また音声チャットでの交流を希望しない参加者及び音声並びにテキストチャットによる交流は望まないが、交流グループへの参加希望者が参加できる機能」 こちらについて、以下2点を認識しました。①参加者自身が音声のミュート及びその解除を設定できること、②チャットグループに参加して閲覧できる状態を作りつつ、自身で発言するか否かを選択できる。 こちらの解釈でよろしいでしょうか? (2)グループ参加希望及びグループ参加の承認について、できる人の範囲にご指定がありましたら教えてください。	(1)①及び②については、お見込のとおりです。 なお、②については、参加者の心情をアバターに文章等で表現できる仕様を検討しています。 (2)特段の指定はありません。ただし他人への誹謗中傷や運営に支障を来す迷惑行為等、メタバス空間の居場所へ参加をする規約に違反する場合や、本事業の目的に即しない利用等、適切でない判断した場合は、この限りではありません。 また、本事業は、参加者1名につき1つのID及びパスワードを発行する為、グループで参加する場合は、各々が区内に住居登録があり、ひきこもり当事者である等の参加要件を満たしている必要があります。